

出雲

ののうちの まこと VOL 39

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
ブログで日々の活動を紹介します。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—March

発行日：2021年3月27日

最近の活動から

出雲郷公民館のお別れ会

1月31日、東出雲町の出雲郷公民館で「お別れ会」が開催されました。東出雲町では3月末で4公民館が廃館され、4月1日から東出雲公民館1館となります。出雲郷公民館は、閉館後に開設の放課後児童クラブの改造工事のために実質1月末に終了となりました。



閉館にあたり主事の思い出を話しました

野々内も挨拶の時間をいただき、11年間のボランティアでの主事の思い出・懐かしい活動と、何らかの地域活動の拠点が求められることを話しました。

新幹線整備促進議連の活動

新幹線建設促進の活動もしています。3月12日に「山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市議会議員連盟」の研修会と総会。この議連の幹事長を務めています。コロナ禍で要望活動などが行えずにいるため、東京の国土交通省と市役所をインターネット回線で結んでWeb研修会を実施しました。



研修会での進行を務めました

研修会の講師は、国土交通省鉄道局 幹線鉄道課の足立基成課長。演題は「新幹線の現状と今後の取組について」で、詳しく解説をしていただき理解を深めました。

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきたいと思います。この度後援会だよりvol.39を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在70歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選 平成29年4月3期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務所◆

東出雲町錦浜583-7(東出雲工業団地内・元国神運輸)
TEL/0852-67-7640 携帯/080-2901-0569
FAX/0852-67-7641
Eメール kaeruchikara@joy.ocn.ne.jp

◆後援会事務局◆

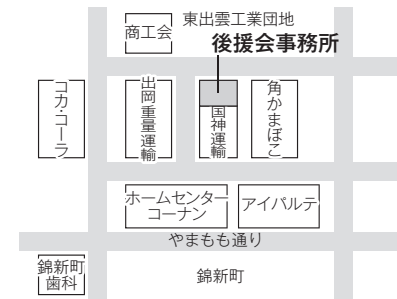
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX/0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠後援会事務所

ののうち誠後援会事務所を自宅のほかに東出雲工業団地内「元国神運輸」に開設し、松江市政への相談や問い合わせに応じています。活動の拠点としてお気軽にお立ち寄りください。

※事務所の駐車場奥部はSBSの業務用。入口付近に駐車してください。

※土日、祝日も開設します。時間は原則午前9時から午後6時まで。



地域に寄り添うまちづくりに努めてきました

新型コロナウイルスワクチン接種が医療従事者から始まり、今後は高齢者や一般市民へと接種対象が移るようです。ワクチンの安定供給が進み、一日も早い収束を願っています。

さて、野々内の3期目の議員活動では、東出雲町政時代の企画畑など長年の行政経験で培った知見と構想力、また、3期約10年間の議員活動の経験を糧に、松江市政へのチェックや提言について、総合力を武器として積極的に行ってきました。

3期前半の2年は、総合交通対策特別委員会委員長や決算特別委員会委員長を務める一方、一般質問を毎回行い連続30回の質問での成果は各方面にわたり数多くの回答を導き出しました。

3期後半の2年は議会代表として松江市監査委員に選任されました。一般質問は監査委員の慣例により自粛していません。監査委員として、市政全般にわたり事務事業を、経済的、効率的に行われているかなどを広く深く監査しました。その結果は市長に報告し、意見を述べる場合もありました。松江市を変える力として、大きな機会を得ました。

松江市は、人口減少対策や地域産業の活性化、福祉の充実など山積する課題があります。夢を持って地域に寄り添うまちづくりが必要だと考えています。



令和3年度当初予算などを議決 2月定例議会

2月市議会は、2月24日から3月18日までの23日間の会期で開会。令和3年度当初予算は、4月の市長選挙を控え概算予算としつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や地域経済の回復をはじめとした継続して取り組む必要がある事業などを盛り込み、一般会計の予算総額は981億7,600万円(前年度比-2.1%)としました。

令和2年度補正予算では、一般会計は15億4,431万円余を増額し新型コロナウイルス感染症対策や国の3次補正予算に呼応した事業などを盛り込み、補正後の一般会計予算総額は1,311億8,979万円余となりました。

条例関係では、松江の文化力を生かしたまちづくり条例を制定し、本市が国際文化観光都市に指定され70年となることを契機に地方創生につなげる取り組みを行うことになりました。また、東出雲町の定住促進

賃貸住宅・南廻山ハイツと県営住宅・南廻山団地を市営住宅にするための条例一部改正なども議決しました。

また、議員提出議案2件が提出され、我が松政クラブが提案した「新型コロナウイルス感染症に関する意見書」は提案通り可決し、他会派からのもう1件は賛成少数で否決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

松江市の課題とは



松江市議会本会議

地域の発展の充実

- 意宇川流域（八雲町から河口まで）の連携と発展。
- 市街化区域制度と都市計画税制度の再考と是正。
- 地域協議会終了後の東出雲のまちづくりについて、積極的な施策展開。

産業振興の充実

- 産業に強い東出雲地域を中心に、コロナ後の製造業への振興施策の拡充と雇用対策。
- 中海干拓工業団地の早期造成と売却の促進。
- 継続可能な営農と特産品づくりなど農業の振興。
- 松江ならではの観光と文化の振興。

基盤整備の推進

- 山陰新幹線・中国横断新幹線の早期事業化。
- 災害に強い、安心安全のまちづくり。
- JR東松江駅周辺の整備



と活性化。

- 都市計画道路揖屋馬潟線の早期全線開通など道路網整備の促進。

教育や福祉の充実

- 統合公民館や地域活動による、心が通い笑顔があふれるまちづくり。
- 学校図書館活用教育の充実、教育施設の充実など教育の振興。
- 少子化対策、子育て支援などの充実。
- 元気な高齢者対策や介護保険など、高齢者福祉の充実。
- 社会参加を促し生涯を通しての支援で、障がい者福祉の充実。

市監査委員の仕事から

市内の市民団体の代表から12月7日に提出された「市庁舎建設に関する件」の職員措置請求(住民監査請求)。監査委員合議により請求を棄却する判断を行ったことを2月3日に代表者に通知しました。

また、3月19日に、松浦市長を訪ね「令和2年度定期監査等報告書」を手渡し、定期監査(一般会計・特別会計・公営企業会計)や行政監査(公園の維持管理)、随時監査(工事監査)のそれぞれの結果に関する報告を行いました。



市長室で監査結果の報告

野々内が大切にしている4つのこと

松江市を変える力として

提言を積極的に
行っています

市政への提言は総合力が重要。東出雲町政時代の企画畑など長年の行政経験で培った知見と構想力、また、3期約10年間の議員活動の経験を糧に、松江市政へのチェックや提言を積極的に行っています。

一般質問と成果、
監査委員として

多岐にわたる質問で
実効のある回答を

導き出しました

初当選から平成31年2月定例議会まで連続30回の質問を行いました。その後は、松江市監査委員を拝命したため慣例により一般質問を自粛しています。

一般質問の成果は、福祉や教育、産業振興やまちづくりなど多岐にわたり、数多くの実効のある回答を導き出しました。

ものづくり事業助成の拡大、中海干拓工業団地の買上げ・整備、特定工場の緑地面積比率等の緩和、農業の

議員活動の報告

様々な媒体で活動内容を
詳しく伝えてきました

年4回の後援会だよりの発行(39号)やホームページの開設を始め、ブログは平成23年11月に開始以来1,80

野々内の
取り組んできた姿勢

初心を忘れず
全力を尽くしてきました

野々内は、愛する東出雲町を始め松江市の発展と市民の幸せのために、課題のある地域に入り全力を尽くしてきました。

松江市をひとときわ輝く都市にするために、初心を忘れず「まじめに」「ひたむき」な姿勢を堅持しつつ、夢を持つ課題の解決に取り組むことは必要だと考えています。

野々内の議員活動の一コマ



不昧公没後200年記念事業に呼应し和服で一般質問へ



地元など関係者で河川の危険箇所調査・点検(意宇川)



地元シンポジウムでコーディネーターを務める



地元の皆さんと河川維持の現地調査(市の原川)



議会代表で菅田庵竣工記念茶会に出席